

清水寺境内図屏風（部分）〈江戸時代〉

寛永再建三百八十年記念

京都 清水寺 展

The Kiyomizu-dera Temple of Kyoto

平成25年
11月2日(土)～
12月8日(日)

開館時間 午前9時～午後6時、金曜日・土曜日は午後8時まで（入場は閉館の30分前まで）
＊11月2日(初日)は午前9時30分からの入場となります。
休 館 日 11月5日(火)、11日(月)、18日(月)、25日(月)
主催 文化の杜共同企業体／沖縄県立博物館・美術館／北法相宗大本山 音羽山清水寺

沖縄県立博物館・美術館



本堂 十一面千手観世音菩薩立像（御本尊御前立）〈江戸時代〉



1,200円(960円)、大学・高校生 800円(640円)、
・小学生 600円(480円)

清水寺

「清水の舞台」、「音羽の滝」で特に有名な清水寺は、京都の名所としてのみならず、ユネスコ世界遺産に登録され国内外から多くの参詣者を集めています。しかし、これまでその歴史や寺宝はあまり知られていませんでした。本展では、頭上に両手を伸ばした「清水型千手観音」とも呼ばれる本堂十一面千手観世音菩薩立像（御本尊御前立）をはじめ、本堂や奥の院などの仏像や屏風、書画などの貴重な寺宝55点のほか資料などを紹介し、清水寺の全貌に迫ります。沖縄初の大規模な仏教美術の展覧会です。

宝亀九年（７７８年）、奈良小島寺の延鎮上人は観音の夢のお告げによって清水を求め、京都の音羽の滝をたずねました。清水寺は、延鎮上人がその地で出会った行叡居士から授けられた霊木に千手観音像を彫り、祀ったことから開基されました。


奥の院　三面千手観世音菩薩坐像（御本尊御前立）〈江戸時代初期〉


本堂 風神像
〈室町～江戸時代〉


徳川家光寄進 釣灯籠
〈寛永10(1633)年寄進〉


随求堂 大随求菩薩坐像
〈江戸時代〉


冨田渓仙筆 伐芸天図
〈明治39(1906)年〉


本堂 雷神像
〈室町～江戸時代〉


良慶和上筆「無事」
〈昭和48(1973)年〉

関連催事

開眼法要（一般公開）

日　　時	11月2日(土)9：30～10：00
場　　所	企画ギャラリー内

＊当日有効の入場券が必要です

特別講演会「「清水寺展」出開張をことほぐ」

講　　師	清水寺貫主　森 清範 師
日　　時	11月2日(土)14：00～15：00
場　　所	県立博物館・美術館 講堂
参加方法	事前申込制(先着 200 人)

＊詳しくは当館ホームページをご覧下さい

和服来場特典

和服姿でご来場の方は、当日料金の2割引！
(当館発券窓口へお申し出ください)

＊他の割引との併用はできません。

清水寺貫主 森清範師によるご揮毫

「今年の漢字」でおなじみの森清範師(清水寺貫主)に、事前公募した漢字のなかから一文字を書いていただきます。

揮　　毫	清水寺貫主　森 清範 師
日　　時	11月2日(土)11：00～
場　　所	エントランス

観覧無料　＊詳しくは当館ホームページをご覧下さい

ギャラリートーク

案　　内	担当学芸員
日　　時	11月16日(土)11：00～12：00
場　　所	企画ギャラリー内

＊当日有効の入場券が必要です


清水寺境内図屏風〈江戸時代〉

アクセス

■バス

那覇空港発	99番線	おもろまち3丁目バス停下車	徒歩5分
	120番線	上之屋バス停下車	徒歩10分
市内線	3・7・10番線	県立博物館前バス停下車	
	6番線	那覇メインプレイス東口バス停下車	徒歩5分
市外線	バイパス経由	おもろまち駅前バス停下車	徒歩10分
	国道58号経由	上之屋バス停下車	徒歩10分
	おもろまち行	おもろまち1丁目バス停下車	徒歩3分

■沖縄都市モノレール

	ゆいレール	おもろまち駅下車	徒歩10分

＊駐車場に限りがございますので公共交通機関をご利用下さい。



Okinawa Prefectural Museum
& Art Museum

〒900-0006沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
TEL:098-941-8200(代表)
http://www.museums.pref.okinawa.jp
カーナビマップコード：33 188 675

沖縄県立博物館・美術館